

開講年次・時期	1年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	LA110	科目名	法学概論(日本国憲法を含む)	担当者名	小野 昇平
授業の概要	憲法改正の国民投票や国政選挙の投票権も18歳以上に引き下げられた現代においては、憲法には何が書いてあるのかということよりも、憲法とは何のためにあるのかということについて、「自分のこと」として深く考えることが不可欠です。この講義では、様々な具体例を通じて憲法の存在意義をしっかりと理解してもらうと同時に、多様な場面における憲法の役割を論理的に説明できるようになることと目的とします。				
科目の到達目標	①憲法が何のためにあるのかを説明できるようになること。 ②憲法で保障されている様々な自由や権利がどのような場合にどのように問題となるのかを論理的に説明できるようになること。				
DPの観点	⑥専門知識・技能⑦思考力⑨主体性⑩問題解決力				
授業時間外学修(予習・復習)	法に関する新聞やテレビの報道に関心を持ち、毎日少なくとも1時間程度、新聞に目を通し、ニュースを視聴する。				
フィードバックの方法	毎回のコメントシートに書かれた受講生の考えを踏まえて次週に解説を行う。				
単位認定の要件	毎回のコメントシートについては、講義を聞いて何が問題なのかを理解しているかどうか重要となる。期末レポートについては、授業内容の理解に加え、取り上げた具体的事例が「なぜ」憲法の観点から問題となるのかをきちんと説明できていることが重要となる。				
評価の方法・割合(%)	中間レポート…30% 期末レポート…70%				
履修上の注意事項	スライドを使用して授業を行う。ノートは不要だが赤青黒のペン(鉛筆可)と、赤青の蛍光ペンを用意するとよい。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			憲法の中身を見てみよう	⑥⑦⑨⑩	コメントシート
2			「私たちの」国と憲法：国会・内閣の役割はなんだろう？	⑥⑦⑨⑩	同上
3			国民主権：選挙は何のためにあるのだろうか？	⑥⑦⑨⑩	同上
4			憲法9条と自衛隊、自衛権の問題	⑥⑦⑨⑩	同上
5			憲法9条の成り立ち	⑥⑦⑨⑩	同上
6			基本的人権が制約される場合とは—飲酒対策法事件	⑥⑦⑨⑩	同上
7			性犯罪再犯防止とプライバシーの権利	⑥⑦⑨⑩	同上
8			一票の較差と平等—憲法14条と平等権	⑥⑦⑨⑩	同上
9			男女の不平等！？：夫婦同姓制度と憲法14条、24条	⑥⑦⑨⑩	同上
10			ピアノ伴奏をしたくありません！—思想の自由と憲法19条	⑥⑦⑨⑩	同上
11			剣道は履修できないのですが…—信教の自由と憲法20条	⑥⑦⑨⑩	同上
12			教育は誰のため？何のため？：教育を受ける権利と憲法26条	⑥⑦⑨⑩	同上
13			コロナだから集まっちゃダメ！？：表現の自由と憲法21条	⑥⑦⑨⑩	同上
14			人を傷つけるような表現はダメ！：表現の自由と憲法21条②	⑥⑦⑨⑩	同上
15			憲法とは何のためにあるのだろうか？	⑥⑦⑨⑩	同上
期末試験			期末レポートで代替する。		

使用テキスト	特になし
参考文献 参考URL	棟居快行、他『基本的人権の事件簿[第6版]』(有斐閣、2019年)、志田陽子(編著)『映画で学ぶ憲法』(法律文化社、2014年)
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--